

公安委員会定例会議(第30回)の開催状況

第1 日 時 令和7年11月26日(水)

午後2時10分 ～ 午後4時16分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議会議録

総務室から、令和7年第29回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

(3) 公安委員会宛て苦情の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。

(4) 審査請求の申立て

警務部から、審査請求の申立てについて伺いがあり了承した。

(5) 公安委員会事務専決規定の改正

生活安全部から、公安委員会事務専決規定の改正について伺いがあり了承した。

(6) 風俗営業等事務取扱要領の改正

生活安全部から、風俗営業等事務取扱要領の改正について伺いがあり了承した。

(7) 安全運転管理者等運用要領の制定

交通部から、安全運転管理者等運用要領の制定について伺いがあり了承した。

(8) 指定講習機関の指定等に関する規定の制定

交通部から、指定講習機関の指定等に関する規定の制定について伺いがあり了承した。

(9) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、23件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

2 報告事項

(1) 報道資料管理システムの運用

総務室長から、報道資料管理システムの運用について報告があった。
委員から「システムの導入には、新たなシステムの構築や報道機関と

の調整など苦労もあったと思うが、非常に合理的な取組であり、適切な運用に努めてほしい」との発言があった。

委員から「各種DXの推進は、時代の流れからも必要なものだと考えている。警察が扱う情報は機微なものもあるため、個人情報保護の観点からもセキュリティ面は特に進化をしてほしい」との発言があった。

委員から「今回のシステム導入は、合理化・効率化の観点から必要なものだと思う。適切なチェック体制を敷き、誤発信の絶無に努めてほしい」との発言があった。

(2) 愛媛県警察先端技術フェアの開催結果

総務室長から、愛媛県警察先端技術フェアの開催結果について報告があった。

委員から「先端技術は日々進化を遂げているが、警察に取り入れるべきものはしっかりと見定めて取り入れてほしい」との発言があった。

委員から「技術が進化すれば、その技術が犯罪に用いられる可能性も出てくるため、警察職員の方は最新技術をよく理解し、適切に対処できるようにしてほしい」との発言があった。

委員から「警察職員の労働時間等を削減できるような先端技術があれば、積極的に取り入れ、働き方改革に活用してほしい」との発言があった。

(3) 交通事故抑止に関する広報啓発動画の制作

交通部長から、交通事故抑止に関する広報啓発動画の制作について報告があった。

委員から「県警だけでなく、愛媛県の関係部署とも共同して動画制作を行ったと聞き、非常によい取組だと感じた」との発言があった。

委員から「6秒間の広報啓発動画を拝見したが、緊張感が伝わってきた。また、自転車の交通違反に関しては、まだまだ世間の周知が低いと思われるため、広報啓発活動をしっかりと行ってほしい」との発言があった。

委員から「自転車の交通違反に関しては、高校生が取締りを受ける可能性も高いため、教育機関と連携し、周知を行ってほしい。また、広報啓発動画は、製作・編集・発信に長けた学生等若い方を巻き込んだ活動を行うなどして工夫を重ねてほしい」との発言があった。

(4) 訴訟案件に関する報告

警務部から、訴訟案件に関する報告があった。

(5) 銃砲刀剣類所持等取締法違反事件の送致

刑事部から、銃砲刀剣類所持等取締法違反事件の送致に関する報告があった。

以 上